

卅五八17

297-7

古屋陸軍地方幼年學校一覽

次

第一

沿軍路

目的及教育概要

第二

生徒起居

概况

第三

生徒父兄

心得

第五 生徒志願者心得

第六 納金手續

附表附圖

一 諸學校系統表

一 地方幼年學校教授部課程細目表



- 一 地方幼年學校教授部教科用圖書配當表
- 一 全 訓育部課程細目表
- 一 全 日課時限基準表
- 一 生徒志願者採用者 府縣別累年比較表
- 一 生徒修學素養別調表
- 一 生徒採用者族籍調表
- 一 生徒志願者採用者 身分別調表
- 一 本校略圖

第一 沿革略

幼年學校ハ遠ク徳川幕府ノ設立セル横濱語學所ニ濫觴シ明治三年朝廷之ヲ收メテ繼續シ全三年兵部省兵學寮ニ屬セラレ全五年五月陸軍幼年學校ト改稱ス

全八年五月兵學寮廢セラレ陸軍省ノ直轄トナル

全十年一月幼年學校廢セラレ生徒ヲ士官學校ノ管轄ニ屬シ全校構内ニ移轄ス

全二十年六月陸軍幼年學校官制及條例ヲ制定セラレ

全八月士官學校幼年生徒ヲ幼年學校ニ轉入ス

全二十九年五月陸軍中央幼年學校條例及陸軍地方幼年學校條例ヲ定メラレ本校ヲ名古屋陸軍地方幼年學

校ト稱ス

全三十年八月歩兵第十九聯隊兵舎ノ一部ヲ以テ假校舎ニ宛ツ

全年九月第一期生徒五十名入校

全三十一年一月校舎新築落成ニ付移轉ス

全年九月第二期生徒五十名入校爾後毎年九月生徒五十名入校

全三十三年七月十日第一期生徒四十九名卒業

全三十四年二月十三日教育勅語ノ正本ヲ下賜セララル

全年七月十日第二期生徒四十七名卒業

全三十五年二月三日軍人勅諭ノ正本ヲ下賜セララル

全年七月十日第三期生徒四十六名卒業

第二 學校ノ目的及教育ノ概要

一、本校ハ陸軍將校ニ出身志願ノ者ヲ選抜シテ生徒ト爲シ軍事上ノ必要ヲ顧慮シテ普通學科ヲ教授シ軍人精神ヲ涵養シ陸軍中央幼年學校生徒ト爲スヘキ者ヲ養成スル所トス

陸軍中央幼年學校ハ陸軍地方幼年學校卒業者ヲ以テ生徒ト爲シ地方幼年學校ノ教育ニ連繫シテ士官候補生タルニ必要ナル普通學科及軍人ノ豫備教育ヲ爲シ陸軍各兵科士官候補生ト爲スヘキ者ヲ養成スル所トス

二、教育ノ要旨 凡ソ教育ノ要ハ生徒ノ心身ヲ開暢
 發達セシメ以テ耐久不撓ノ身體ト活用無邊ノ心
 意トヲ陶冶スルニ在リ即チ筋肉四肢ノ發育ヲ調
 和シ舉止ヲ嚴正ニシ勞動ニ堪ユルノ體力ヲ養ヒ
 智力ヲ鍊修シテ思考自在ナラシメ感情ヲ純潔ニ
 シテ氣品ヲ高メ意志ヲ確實ニシテ斷行力ヲ有セ
 シムルニ在リ而シテ幼年學校ノ教育ハ唯此普通
 ノ修養ニ止マラス特ニ意ヲ左ノ四條ニ用ヒテ教
 養長成セシムコトヲ要ス

一 健全ナル身體ヲ養成スヘシ
 身體強健ナラサレハ精神ノ靈活ヲ缺キ假令絶

群ノ資アリト雖モ展布スルコト能ハスシテ止
 ムモノ多シ常人且ツ然リ況ンヤ身ヲ飢寒殺傷
 ノ地ニ委シテ以テ國家ノ干城ニ任スル軍人ニ
 在リテハ身體尤モ強健ナラサルヘカラス故ニ
 幼年學校ハ特ニ体育ヲ努メ筋骨ヲ強壯ニシテ
 心思ヲ快活ニシ以テ業ヲ成シ職ニ服スルノ地
 ナ爲スヘシ

二 尊皇愛國ノ心情ヲ養成スヘシ
 凡ソ一國ノ獨立ト繁榮トハ國民ノ忠愛心ニ基
 ク苟モ國民皆此心情ニ富ミ協同一致シテ主宰
 ニ奉事スルノ國家ニ非レバ決シテ國運ヲ永遠

ニ保テ國光ヲ無窮ニ輝スヲ得ス故ニ幼年學校ノ教育ハ特ニ意ヲ此ニ用ヒテ生徒ヲ開導シ尊皇愛國ノ心情ヲ發達養成スベシ

三 文化ニ資スルノ智識ヲ養成スヘシ

凡ソ一國ノ品位ト文化トハ國民ノ智識ノ反應ナリ故ニ智識ノ開否ハ獨リ人事ノ得失ニ關スルノミナラス大ニ國家ノ榮辱ニ關ス是ニ於テ中等以上ノ教育ニ在リテハ務メテ新智識ヲ與ヘテ天資ノ發達ヲ全フセシメ以テ國ノ品位ト文化トヲ高ムルコトヲ圖レリ況ンヤ幼年學校ノ如キハ社會ノ上流ニ位スル軍人ヲ養成スル

所ナレハ更ニ高尚ナル普通學科ヲ授ケ以テ其智識ヲ開發シ他日將校トナリテ帝國ノ品位ト文化トヲ代表スルニ足ルヘキ資格ヲ有セシムヘシ

四 軍人タルノ志操ヲ養成スヘシ

凡ソ軍人ハ百折不撓ノ志操アリテ然ル後干城爪牙ノ寄ニ任スヘシ苟モ軍隊ノ楨幹タル將校ニシテ意思卑汚志操薄弱ナランカ何ソ能ク社會ノ上流ニ立テテ國家ノ元氣ヲ保ツテ得ンヤ故ニ幼年學校ニ在リテハ唯リ國民タルノ心情智識ヲ養成スルヲ以テ足レリトセス特ニ將校

タル志操ヲ鼓鑄シ献身以テ軍紀ニ從ヒ君命ヲ奉體シ忠誠ヲ盡シ禮儀ヲ正シ勇武ヲ尙ヒ信義ヲ重シ質素ヲ旨トシ確乎拔クヘカラサルノ志操ヲ立テシムヘシ

以上ノ目的ヲ達センカ爲メニ生徒ノ教育ハ之ヲ分テテ教授及訓育トシ教授ハ文官教官之ヲ擔任シ訓育ハ陸軍將校之ヲ擔任ス其課程細目ハ附表ノ如シ

三、修學期 生徒ノ修學期ハ概テ三箇年トシ之ヲ三學年ニ分テ一學年ハ九月上旬ニ始マリ翌年七月上旬ニ終ル又每一學年ヲ二學期ニ分テ九月ヨリ

十二月迄ヲ該年度前期ト云ヒ翌年一月ヨリ七月迄ヲ同年度後期ト云フ而シテ第一學年ニ在ルモノヲ第一學年生徒ト云ヒ第二第三學年ニアルモノヲ第二第三學年生徒ト云フ

四、休業日 生徒ノ休業ハ概テ左ノ如シ

一 慶節國祭靖國神社大祭陸軍始及毎日曜日ニハ朝食濟ヨリ夕食時迄外出ヲ許ス

二 毎年七月中旬ヨリ八月下旬ノ間ニ於テ凡ソ五週間夏期休業ヲ與ヘ外泊及販省旅行ヲ許スコトアリ

三 毎年十二月二十九日ヨリ一月五日マデ冬期休

業ヲ與フ此休業中往復ニ便ナル地ニアリテハ
父兄又ハ身元保證人ノ出願ニ依リ販省ヲ許ス
コトアリ

前項ニ掲クル外父母ノ病氣危篤又ハ死亡等ニテ
歸省ヲ要シ親戚狀ヲ具シ出願(電報ニテ出願スル
ヲ得)スルトキハ詮議ノ上二週間以内ノ販省ヲ許
スコトアリ

五、修學旅行及游泳演習 毎年春季ニ於テ一週日以
内修學旅行ヲ夏季ニ於テ約二週日游泳演習ヲ施
行ス

六、身體檢查 毎年九月及三月ニ於テ體格檢查ヲ行

ヒ發育ノ景況ヲ審査シ又時々身体ヲ檢查シテ疾
病ノ伏匿ヲ豫防ス

七、試験及列序ノ判定 生徒學フ所ノ學術ニ就キ能
ク其理義ニ通シ實際應用ノ活力ヲ有スルヤ否ヤ
ヲ查覈スル爲メ學年間斷ヘス試験ヲ行フ之ヲ日
課試験ト云ヒ各學年ノ終ニ於テ當學年間教習セ
ル科目ニ就キ試験ヲ行フ之ヲ學年試験ト云フ但
シ國漢文外國語數學及前期ニ於テ教授ヲ完了セ
ル學科ハ之ヲ行ハス
學年試験終了ノ上校長ハ教官及生徒監ヲ會シ會
議ヲ開キ日課試験學年試験及訓育部諸成績ヲ參

酌シ生徒ノ優劣ヲ審判シ列序ヲ決定ス
第三學年末ニ於テ卒業試験ヲ施行シ校長ハ教官
及生徒監ヲ集メ會議ヲ開キ全學年中ノ諸結果ト
卒業試験ノ成績ヲ對照シ優劣ヲ審判シ列序ヲ決
定ス

八、卒業、退校及延期修學 卒業試験ニ及第シタル者
ニハ教育總監ノ認可ヲ得テ卒業證書ヲ授與シ中
央幼年學校ヘ入學ヲ命ス
卒業生ハ中央幼年學校ニ入校ノ期日(九月一日)ニ
至ル迄休暇ヲ與ヘ歸省又ハ他行ヲ許スコトヲ得
此間ニ於ケル生徒ノ身分ハ本校ニ屬ス

左ノ事項ニ該ル者ハ教育總監ノ裁定ニヨリ退校
セシム

其一 學術ノ修得全カラス卒業ノ目途ナキ者
其二 屢々法則ヲ犯シ又ハ品行不正ニシテ改悛
ノ目途ナキ者

其三 傷痍疾病ニ依リ修學ニ堪ヘサル者

其四 卒業試験ニ落第セシ者
生徒中各學年ニ於テ所定ノ學科ヲ修メ得サル者
或ハ疾病等ニ依リ卒業試験ヲ受ケサル者又ハ卒
業試験ニ落第セシ者ト雖モ尙望ミアル者ハ一學
年延期修學セシムルコトアリ

第三 生徒起居ノ概況

- 一、生徒ハ總テ校内居住トス
- 二、生徒ハ生徒監(大、中尉)ヲシテ取締ニ任シ日常瑣末ノ事件ニ至ルマテ其監視ノ外ニ出ルコトナク慈母ト爲リ嚴父ト爲リ自ラ模範トナリテ嚴格端正ナル軍紀風紀ニ慣習セシメ有爲高尙ナル軍人タラシムルヲ期ス
- 三、生徒ハ相互ニ責善ノ友道ヲ守リ名譽ヲ發揚スルハ勿論相互ノ間ニ於テ不良ノコトアルヲ知ラハ之ヲ道義ノ制裁ニ訴ヘ溫和懇篤ノ友情ヲ盡シ其

- 改善ヲ圖ラシム若シ其躬行修ラス本校ノ名譽ヲ汚スカ如キ所爲アルモノヲ認ムルトキハ速カニ之ヲ上官ニ申告セシム
- 四、生徒ハ喫煙ノ禁制ヲ守ルハ勿論亦飲酒スルヲ許サス
- 五、生徒ハ結社、政治、時勢及宗教ニ關スル議論演說若クハ投書ヲナシ又ハ演說等ノ場所ニ立入り其他金錢ヲ賭スル遊戯生徒間黨與ヲ結ビ或ハ宴會ニ類スル會合金錢及諸給與品ノ貸借並ニ許可ナクシテ私物ヲ校内ニ入ル、ヲ禁ス
- 六、本校ヨリ支給又ハ貸與セシ器具物品等ヲ生徒ノ

不注意ヨリ毀損又ハ遺失スル者ハ之ヲ辨償セシム若シ其資力辨償ニ堪ヘサルトキハ身元保證人ヲシテ之ヲ償ハシム

七、生徒ノ疾病ハ軍醫之ヲ診察シ輕症者ハ校内ニ設クル所ノ休養室ニ於テ加養セシメ其僅少ノ日數ニテ快復セサルモノ又ハ重症者ハ名古屋衛戍病院ニ送り治療セシム其病症ニ依リ父兄或ハ身元保證人ヨリ自宅療養ヲ出願スルトキハ病況ニ依リ許可スルコトアリ

第四 生徒父兄(身元保證人)ノ心得

一、本校生徒養成ノ目的及其取扱方ハ略ホ前述ノ如シ而シテ日常周密ナル保護監督ノ下ニアルヲ以テ決シテ不正ノ所業ヲ爲スコトヲ得ス然レトモ休暇外出中單獨ノ動作ニ至リテハ往々監督ノ及ハサル處ナキニアラス隨テ品行ヲ紊リ悪友ニ交リ悪風ニ感染スルハ保スヘカラサルモノアリ故ニ學校ト家庭トハ常ニ其聯絡ヲ密接ナラシメ家庭ニ於テハ苟モ學校ノ施爲ト背馳スル所アルヘカラス依テ左ニ家庭ニ於テ注意スヘキ概要ヲ掲ク父兄及身元保證人ハ能ク其主旨ヲ體シテ之ヲ確守勵行シ學校ト相俟テ其成效ヲ期スヘシ

一 休暇外出中野外ノ逍遙等ハ積日勉學ノ鬱ヲ散シ心氣ヲ清新ナラシムルヲ以テ大ニ身體健康ニ益アリト雖モ其他ハ可成父兄又ハ親戚身元保證人ノ家宅ニ於テ有益ナル談話ニ消日セシメ下宿屋等ニ出入シ又ハ無頼ナル書生輩ト交際セシムヘカラス

二 校内ノ飲食ハ醫官ト謀リ食品ノ善良ナルト多衆ノ嗜好トニ注意シ衛養ヲ專一トス故ニ自ラ飲食ニ定量アリ身體モ亦之ニ慣ル、ヲ以テ外出先ニ於テ猝カニ食物ヲ貪ルトキハ忽チ健康ヲ害スヘシ且ツ夏季特ニ傳染病流行ノ際ハ一

層飲食ニ注意スルヲ要ス

三 終日外出ヲ許シタルトキハ午餐ヲ携行セシムルニ依リ父兄又ハ親戚身元保證人ノ家宅ニ於テ餘計ノ馳走ヲ爲シ或ハ飲食店等ニ出入セシメサルヲ要ス是レ金錢ヲ浪費スルノミナラス品行ヲ紊リ健康ヲ害スルノ媒介タレバナリ

四 日用雜費(楊枝、齒磨、手拭、不淨紙等)ハ各自ノ自辨ニシテ其一個月ノ最高額ヲ八拾錢トシ生徒ハ一時ニ之ヨリ以上ノ金錢ヲ所持スルヲ許サス身元保證人ハ本項最高額ヲ目途トシテ毎月納金ト合セテ本校ヘ宛テ送金アルヘシ

- 五 日用雜費ノ最高額ハ從來ノ經驗ニ由リテ定メタルモノナレハ之ヨリ以外ニ費用ヲ要スルコトナシ但シ販省旅行其他官物自償等ノ爲メ日用雜費ノ外臨時費用ヲ要スルトキハ生徒監ハ其事由ヲ父兄へ通知スルカ或ハ證明書ヲ與ヘテ生徒ヨリ父兄或ハ身元保證人ニ申出テシム
- 六 臨時費用ハ何等ノ理由ヲ以テ申出ルモ前項ノ手續ニ據ラサルモノハ父兄及身元保證人ニ於テ其請ニ應セザランコトヲ要ス
- 七 總テ金錢ハ何等ノ名義ヲ以テスルモ直接ニ生徒ニ附與スルコトヲ爲サス必ス本校宛送附ア

ルヘシ

- 八 夏期及冬期休業ノ際外泊セシムルトキハ父兄親戚又ハ身元保證人ノ宅ニ宿泊セシメ決シテ單獨ニテ下宿屋ニ宿泊セシムヘカラス
- 九 生徒中父兄ノ郷里ニ在ルモノハ少クモ一個月一回其安否ヲ訪ヒ自己ノ模様ヲ郵報シ以テ子タルノ道ヲ盡サシメ又生徒監ヲシテ生徒ノ行狀學術ノ成績及健康ニ關スル狀況ヲ父兄ニ通報セシムヘシ
- 十 生徒ノ身上ニ異常ノコトアル場合ニハ學校ハ臨時父兄及身元保證人ニ通告スヘシ又父兄及

身元保證人ヨリ生徒ノ身上ニ關シ問合セテ受ケタルトキハ詳細ニ開示スヘシ

十一 生徒ノ父兄及身元保證人等生徒ノ身上ニ關シ責任ヲ有スル者ニ面晤ノ機會ヲ得ルハ家庭トノ連絡上希望スル所タリ故ニ學校ハ卒業式其他有益ナル場合ニハ父兄及身元保證人ノ列席ヲ求ムヘシ父兄及身元保證人ニ於テモ亦成ルヘク機會ヲ求メテ學校ヲ參觀シ生徒ノ教育及起居ノ狀態ヲ實視シ又校長及其他ノ職員ニ面會シ詳細其狀態ヲ承知アルヘシ

十二 生徒ノ父兄及身元保證人ハ勿論生徒ノ家族親戚ニハ其望ニ依リ校内ノ觀覽ヲ許可シ又生徒ニ面會ヲ請フトキハ所定ノ時限外ト雖モ差支ナキ限リハ便宜ヲ與フベシ

第五 生徒志願者心得

- 一、 本校ハ陸軍將校ニ出身志願ノ者ヲ選抜シテ生徒ト爲ス其採用スベキ人員ハ時々之ヲ告達セララル
- 二、 左ノ諸項ニ該ルモノハ採用セズ
 - 一 本人竝ニ父若クハ戸主家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ未ダ復權ヲ得ザル者及身代限りノ處分ヲ受ケ辨償ノ義務ヲ終ヘザル者

- 二 禁錮ノ刑ニ處セラレタル者及賭博犯ノ處分ヲ受ケタル者
- 三 素行修ラザル者及家庭不良ナル者
- 三、生徒志願者ノ年齢及身長左ノ如シ但シ年齢ハ入學期(九月一日)ヲ以テ之ヲ算ス
 - 一 年齢十三年以上十五年以下ノ者
 - 二 身長十四年未滿ハ四尺四寸以上十四年以上ハ四尺五寸五分以上
 - 但シ戰死及戰傷ニ依リ死没シ又ハ戰役中危難ヲ冒シタルニ起因シテ死没シタル陸海軍將校及同相當官並ニ高等文官ノ孤兒ニ在テ

- ハ身長本文ノ定限ニ達セザルモ士官候補生トナル迄ニ該定限ニ達スベキ見込アル者
- 四、生徒ノ入學ハ毎年九月一日トス
- 五、生徒中止ムヲ得ザル事故アリテ退校ヲ願出ル者アルトキハ其事情ニ依リ之ヲ許スコトアルベシ
- 六、志願者ノ検査ヲ分ツテ身體検査學術試験トシ學術試験ハ身體検査合格者ニ就テ之ヲ行フ
- 七、生徒ノ入學試験ハ左ノ如シ但シ試験ノ程度ハ中學第一級終業ノ學力ニ比準ス
 - 一 讀書 漢字交リ文
 - 二 作文 日用書類漢字交リ文、文法

- 三 算術 初歩
- 四 地理 日本地理ノ大要
- 五 歴史 日本歴史ノ大要
- 六 理科 初歩
- 七 圖畫 鉛筆畫
- 八、本校生徒ノ召募區域ハ第三及第九師管内居住ノ者トス

但シ各地方幼年學校志願者ニ過不足アルトキハ其超過セシ者ヲ他ノ不足セシ學校ニ入學セシムルコトアルベシ故ニ志願者ハ豫メ他ノ企望學校第一ヨリ第三マデヲ願書ニ記載スベシ

九、試驗場ハ左ノ如シ依テ其検査ヲ受クベキ場所ヲ

選定シ願書ニ記載スベシ

但シ居住地所管師管外ノ検査場ヲ選定スルヲ得ズ

第三師管 名古屋、津、豊橋、静岡

第九師管 金澤、富山、鯖江、岐阜

十、學科試験ハ毎年四月十六日ヨリ之ヲ行フ

十一、志願者ハ父兄親族其他一家ヲ爲ス身元確實ノ者二名ヲ以テ保證人ト爲シ入學願書ニ戸籍謄本及履歷書ヲ添付シ之ヲ検査ヲ受クベキ前年ノ十月三十一日迄ニ居住地ノ市町村長ニ差出スベシ

シ(願書其他ノ書式ハ左ニ記載ス)

志願者中本籍地外ニ居住シ本籍地方ノ幼年學校ニ入學セントスル者ハ願書其他ノ書類ヲ本籍地ノ市町村長ニ差出スベシ但シ其検査ヲ居住地方ニ於テ受ケントスルトキハ願書ニ其旨ヲ記載スベシ

志願者中願書ヲ差出シタル後検査場ノ變更ヲ望ム者ハ最初願出ノ手續ニ依リ其變更ヲ願出ヅベシ但シ右願書ニシテ三月十日迄ニ教育總監部ニ到達セザル者ハ採用セズ

十二、志願者ハ検査期日前検査地ニ到着シ書面ヲ以

テ其止宿所ヲ所定ノ場所ニ届出ヅベシ(検査地居住者モ本文ニ準ズ)

志願者ハ新ニ撮影シタル寫眞(裏面ニ族籍氏名ヲ自書スベシ)一葉ヲ携帯シ検査醫官ニ差出スベシ

十三、志願者中採用スベキ者ト否トハ郡市長町村長ヲ經テ本人へ達ス

十四、入校ノ命ヲ受ケタル者(特待生ヲ除ク)ハ更ニ身元保證人二名ヲ定メ入學期日前ニ納金證書(左ニ書式)ヲ差出スベシ

十五、生徒中左ノ各項ニ該ル者ハ列記ノ順序ニ從ヒ資産ヲ願慮シ若干名ヲ限リテ特ニ納金ノ全額ヲ

免除スルコトヲ得之ヲ特待生ト稱ス

- 一 戦死及戦傷ニ依リ死没シ又ハ戦役中危難ヲ冒シタルニ起因シテ死没シタル陸海軍將校及同相当官竝ニ高等文官ノ孤兒
- 二 現職中公務ノ爲メニ死没シタル陸海軍將校及同相当官ノ孤兒
- 三 増加恩給權ヲ得タル陸海軍將校及同相当官ノ孤兒
- 四 恩給權ヲ得タル陸海軍將校及ヒ同相当官ノ孤兒
- 五 特ニ國家ニ功勞アル高等官ノ孤兒

十六、生徒中左ノ各項ニ該ル者ハ別記ノ順序ニ從ヒ

資産ヲ顧慮シ若干名ヲ限リテ特ニ納金ノ内帽、日覆、絨衣袴肩章、夏衣袴、外套及精米料ヲ免除スルコトヲ得之ヲ半特待生ト稱ス

- 一 現職ニ在ル陸海軍尉官及同相当官ノ兒子
- 二 恩給權ヲ有スル陸海軍尉官及ヒ同相当官ノ兒子
- 三 陸海軍少佐及同相当官ニ名譽進級ヲ爲シタル者ノ兒子
- 十七、家督相續者タル養子ハ前二項中ノ孤兒或ハ兒子ニ準ズ但シ孤兒及兒子ハ總テ同戸籍内ニ現在

スルモノニ限ル又一家ヨリ重複シテ特待ヲ受クルヲ得ズ

十八、生徒ノ納ムベキ金額ハ左ノ如シ

半特待生

初度被服料金拾圓
毎月納被服料金貳拾五錢

自費生

初度被服料金參拾圓
毎月納被服料金五拾錢

半特待生及自費生ノ毎月納金額ハ一個年ノ經費ヲ平均セシモノナルヲ以テ休暇ノ月ト雖モ上納セシムルモノトス

十九、初度被服料及入學當月ノ納金ハ入學ノ前月二

十八日迄ニ納付スベシ

二十、入學ノ命ヲ受ケタル者疾病其他止ヲ得ザル事

故ヲ生シ入學延期ヲ願出デントスルトキハ其願書ニ何日間猶豫ノ旨ヲ記シ疾病ハ醫師ノ診斷書其他ハ市町村長ノ證明書ヲ添へ校長ニ差出スベシ
入校途中ニ於テ前項ノ事故ヲ生シ期日ニ到著シ難キトキハ電信若クハ郵便ヲ以テ校長ニ届出ツベシ其事故止ミ入校スルトキハ疾病ハ醫師ノ診斷書其他ハ市町村長若クハ船長等ノ證明書ヲ以テ更ニ届出ツベシ
前二項ノ事故ニテ入校期日ヨリ二十日以内ニ到著セザル者ハ除名スルコトアルベシ

二十一、入學ヲ命セラレタル者故ナク出發ヲ遲延シ
 若クハ無届ニシテ期日ニ到著セズ又ハ自己ノ不
 注意ヨリ期日ニ後レタル者ハ入校スルヲ許サズ
 右ハ生徒志願者ノ爲メ特ニ其梗槩ヲ示シタルニ過ギ
 ズ其詳細ハ現行陸軍地方幼年學校條例陸軍召募規則
 ニ就キ熟覽スベシ

第六 納金手續

一、半特待生及ヒ自費生初度被服料及入校當月ノ納
 金ハ入校前月二十八日迄ニ爾後毎月納金ハ其前
 月二十日、二十日、(休業日ナラバ其前日)ニ翌月分若ク
 月二十八日

ハ若干月分ヲ繰越シ身元保證人ヨリ本校ニ納ム
 ヘシ但シ時宜ニ依リ左記ノ手續ニ據リ郵便爲替
 ニテ納附スルモ差支ナシ

一 爲替金拂渡局ハ名古屋市名古屋郵便電信局ニ
 限ル

二 爲替ヲ以テ納付スルトキハ必ス前月二十五日
 迄ニ到著スルヲ要ス

三 納證ハ爲替金券又ハ現金ト共ニ到著スルヲ要
 ス

四 受領者宛名ハ名古屋陸軍地方幼年學校

二、生徒毎月納付スベキ金額ハ半特待生參圓貳拾五

錢自費生六圓五拾錢ニシテ此納金ノ支途ハ糧食及被服ノ補修ニ充ツルモノトス

但シ生徒在學中ハ教科用圖書筆紙墨文具其他器具器械寢具等修學若クハ起居ニ要スル物品ハ悉皆貸與若クハ官給ス

三、半特待生及自費生ノ納金ハ卒業年ノ終リニ於テ實費ヲ精算シ不足ハ之ヲ追納セシメ剩餘ハ之ヲ返附ス若シ生徒ノ父兄又ハ身元保證人ニ於テ決算ノ結果ヲ知ラシコトヲ望ムモノハ本校ニ出頭シ閱覽ヲ請フヘシ

(用紙美濃白紙)

陸軍地方幼年學校生徒願

某 儀

地方幼年學校生徒志願ニ付御許可被成下度御採用ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ卒業ノ上中央幼年學校生徒被命候節ハ誓テ陸軍ニ從事可仕ハ勿論入校中ノ費用ハ御規定ノ通可相納候仍テ戸籍ノ謄本履歷書相添身元保證人連署此段奉願候也

府縣族籍職業

戸主 戸主ニアラザル者ハ誰子弟

氏 名 印

府(縣)郡(市)町(村)番地寄留
府(縣)郡(市)町(村)番地寄留

何年九月當何年何月生

身元保證人

府(縣)族籍職業
府(縣)郡(市)町(村)番地住(寄留)

年月日

氏名印

同

氏名印

何地方幼年學校長氏名殿

追テ左ノ通冀望致候也

入學冀望ハ御校ノ外第一何地方幼年學校第二何
地方幼年學校第三何地方幼年學校ニ有之候

受験場

何地(居住地所管師
管内ニ限ル)

入校後ノ外國語學

佛(獨)語

前書ノ趣調査候處相違無之候也

年月日

府縣郡市長 氏名印

(用紙美濃紙)

履 歷 書

一何年月日何學校入學何年月日同校卒業

一何年月日何學校何年學級ヨリ何學校何年學級ニ入

學何年月日同校卒業

一何年月日何所ニ於テ何々研究

一何年月日何ニ從事ス

一何年月日何ニ依リ賞(罰)

右ノ外履歴ニ關スル事項ハ悉ク記載スヘシ
右之通相違無之候也

年月日

本人氏名印

身元保證人氏名印

同氏名印

(用紙美濃白紙)

納金證書

收入印紙
貳錢
貼用印

某儀

今般地方幼年學校生徒被命候ニ付テハ入校中ノ費用

ハ御規定ノ通可相納萬一本人納兼候節ハ身元保證人
ニ於テ可相納候仍テ身元保證人連署證書如斯候也

本人氏名印

身元保證人

府(縣)郡(市)町(村)番地住(寄留)
府縣族籍職業

年月日 氏名印

同

氏名印

何地方幼年學校長氏名殿

前書ノ通相違無之候也

年月日 府縣郡市長氏名印

教授部課程細目

物			博		學		數		地		史		、語 國 外			文 漢 國				倫	科	
衛生	植	動	幾	代	算	外國地理	本邦地理	東洋史	本邦史	露西亞	獨逸	佛蘭西	作文	文法	漢文	國語	理	目	前	後		
生理	物	物	(平面)何	數	術		本邦地理		總論ヨリ藤原時代ニ至ル	習作 文字 讀方 書取 會話	習作 文字 讀方 書取 會話	習作 文字 讀方 書取 會話	書漢 字交 牘リ 文文	詞 論	講 讀	講 讀	本校生徒ノ本領 及心得 賢人名士ノ性行	課程細目	期	年		
					整數 分數 小數		本邦地理		代ニ至ル	習作 文字 讀方 書取 會話	習作 文字 讀方 書取 會話	習作 文字 讀方 書取 會話	書漢 字交 牘リ 文文	詞 論	講 讀	講 讀	本校生徒ノ本領 及心得 賢人名士ノ性行	課程細目	前	第		
					6		2		2	6			1	1	2	2	1	一週一期	授業回数	期	一	
					96		32		32	96			16	16	32	32	16	一週一期	授業回数	後	學	
	植物ノ概要			緒論、符號及代數式、 整數、分數、四則、 簡易ナル方程式、 整式ノ加法、減法、 及括弧	諸 方 等 數、 比 例、		同		藤原時代ヨリ織 豊時代ニ至ル	作 文 方 書 取 會 話	作 文 方 書 取 會 話	作 文 方 書 取 會 話	同	同	同	同	同	課程細目	上	年		
	1				6		2		2	6			1	1	2	2	1	一週一期	授業回数	期	第	
	23				68		46		46	138			23	23	46	46	23	一週一期	授業回数	前	第	
	同		緒 說、 直	整式ノ乘法及 一次整式			亞 細		德川時代ヨリ 代ニ至ル	同	同	同	同	同	同	同	同	課程細目	前	第		

備考	科目數	週數	合計	習字	圖書		理化示教	博物			數學			地理		歷史	外國語		
					書	圖		衛生生理	植物	動物	幾何 (平面)	代數	算術	外國地理	本邦地理		東洋史	露西亞	獨逸
一、第一學年後期數學ハ算術ヲ終リタル後代數ニ移ルモノトス 二、唱歌ハ本表外ニ各學年ニ一週一回之ヲ課ス 三、露西亞語ハ東京陸軍地方幼年學校ニ限リ之ヲ課ス	10	16		楷行書	臨書		既理化學的現象ノ					整數分數小數		本邦地理		總論ヨリ藤原時代ニ至ル	習作 讀方 書取 會話	習作 讀方 書取 會話	習作 讀方 書取 會話
			27	2	1	1			6		2	2	6						
			432	32	16	16			96		32	32	96						
	11	23		行草書	同上		同上		植物ノ概要			緒論、符號及代數式、整數及分數ノ四則、簡易ナル方程式、負數、整式ノ加法減法、及括弧	開諸等數、比例、		同	藤原時代ヨリ織、豐時代ニ至ル	習作 讀方 書取 會話	習作 讀方 書取 會話	習作 讀方 書取 會話
			27	1	1	1		1		6		2	2	6					
			621	23	23	23		23		48	68	46	46	138					
11	16		楷行草	同	幾何書			同		緒說、直	整式ノ乘法形、一次整式、程式		亞細	德川時代ヨリ代ニ至ル	同	同	同		

細目表

(第一表)

23		23		48		68		46		46		138			23	23	46	46	23	期	第	
	同	上	緒說、直線	整式ノ一次乗法及除式		亞細亞			德川時代ヨリ今	同	同	同	同	同	同	同	同	同	課程細目	前	二	
	2	32	3	3		2			2	6			1	2	2	2	2	1	一週一期	期	學	
			48	48		32			32	96			16	16	32	32	16	16	課程細目	後	年	
	ノ人身生理及衛生ノ概要		圓	因數、最高公因數、最低公倍數、一次分數、分式、一次分式、方程式		歐亞細亞		總論ヨリ南北朝		同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	課程細目	期	年
	2	46	3	3		2		2		7			1	1	2	2	1	1	一週一期	期	年	
			69	69		46		46		161			23	23	46	46	23	23	課程細目	前	三	
			動物ノ概要	二次文字方程式		亞非利加		隋唐時代ヨリ宋時		同	同	同	同	文詞章論	同	同	同	同	勅諭衍義	課程細目	期	學
	2	32	3	3		2		2		7			1	1	3	1	1	1	一週一期	期	學	
			32	48		32		32		112			16	16	48	16	16	16	課程細目	後	年	
	同	上	比例ノ續	累及根、指數、比及比例、根數		亞米利加		元明時代ヨリ清		同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	課程細目	期	年
	2	42	3	3		2		2		7			1	1	3	1	1	1	一週一期	期	年	
			63	63		42		42		147			21	21	63	21	21	21	課程細目	計	合	
39	46	55	74	228	276	186	152	78	120	110	750			115	115	267	193	115	計	合		

ス		ル		モノ		ト		ス											
11	16	621	23	23		23		23		48	68		46		46	138			23
			楷行草書	同上	幾何書法		同上		緒説、直線	整式ノ乘法及除法、一次整數方程式		亞細亞		徳川時代ヨリ今	同	同	同	同	同
		28	1	1	1		2		3	3		2		2	6			1	
		448	16	16	16		32		48	48		32		32	96			16	
	23				臨書及寫生	同上		人身生理及衛生ノ概要	圓	因數、最高公因數、最低公倍數、分式、一次分數方程式		歐太亞羅洋細巴州亞		總論ヨリ南北朝時代ニ至ル	同	同	同	同	同
		28		1	1		2		3	3		2		2	7			1	
			644		23	23		46		69	69		46		46	161			23
	16				同上	投影書法		動物ノ概要	面積比例	二次文字方程式		亞歐非羅利加巴		隋唐時代ヨリ宋時代ニ至ル	同	同	同	同	同
		28		1	1		2		3	3		2		2	7			1	
			448		16	16		32		48	48		32		32	112			16
	21				同上	同上		同上	比例ノ續	根、累數、及、比、指數、及、比例		結亞米利論加		元明時代ヨリ清時代ニ至ル	同	同	同	同	同
		28		1	1		2		3	3		2		2	7			1	
		588		21	21		42		63	63		42		42	147			21	
		3181	71	115	76	39	46	55	74	228	276	186	152	78	120	110	750		

教授部教科用

科 目	學年	第 一 學 年
	期	前 期 後 期

倫 理

國 語
中央幼年學校編纂
國語教程 卷一
前期ノ續キ

漢 文
深井鑑一郎編纂
撰定中學漢文 卷一
前期ノ續キ及卷二

文 法
三土忠造著
中等國文典 上卷
前期ノ續キ

作 文

外 佛蘭西
中央幼年學校編纂佛蘭西五十音帖ニツキ發音綴字ヲ教ヘ次ニウオルマン編「フオルスト、フレンチ、アツク」ニ就キ讀方譯解文法會話書取ヲ授ケ又習字ヲ課ス
前期ニ引續キ「フオルスト、チアイマン、ブツク」ヲ教授シ更ニ「セコンド、フレンチ、マン、ブツク」ニ遷ル

國 獨 逸
中央幼年學校編纂獨逸五十音帖ニツキ發音綴字ヲ教ヘ次ニウオルマン編「フオルスト、チアイマン、ブツク」ニ就キ讀方譯解文法會話書取ヲ授ケ又獨逸字羅馬字ノ習字ヲ課ス
前期ニ引續キ「フオルスト、チアイマン、ブツク」ヲ教授シ更ニ「セコンド、チヤーマン、ブツク」ニ遷ル

語 露西亞
露西亞字ニテ五十音ノ發音綴字ヲ教ヘ次ニウオリハル編「ルスカヤ、レーチ」卷一ニ就キ讀方譯解文法會話書取ヲ授ケ又習字ヲ課ス
同上教科書 卷二

歷 本邦史
中等學科教授法研究會著
中學教程新撰日本歷史上卷
勝浦柄雄著皇國小史附圖
及前期上ノ續キ

史 東洋史

地 本邦地理
山上高次郎著
最近地理學教科書 日本部
同人著 日本部
中等教科用地圖
前期ノ續キ

理 外國地理

數 算 術
中央幼年學校編纂
算術教程
前期ノ續キ

代 數
長澤龜之助編纂
中等代數學教科書

幾 何

學 幾何

備考	習字	書畫	圖畫	理化示教	博物			學		數算術	地理		史	歷本邦史	語			外國	佛蘭西	文作
					生理衛生	植物	動物	幾何	代數		外國地理	本邦地理			露西亞	獨逸	佛蘭西			
	中央幼年學校編纂 習字帖 第一	中央幼年學校編纂 書畫 臨本		白壁傑次郎編 中學理化示教						中央幼年學校編纂 算術教程	山上萬次郎著 最近地理學教科書 同人著 中等教科用地圖 日本部			中等學科教授法研究會著 中學教程新撰日本歷史上卷 勝浦柄雄著皇國小史附圖		露西亞字ニテ五十音ノ發音 綴字ヲ教ヘ次ニウカリハル 編「ルスカヤ、レーチ」卷一 ニ就キ讀方譯解文法會話書 取テ授ケ又習字ヲ課ス	中央幼年學校編纂佛蘭西五 十音帖ニツキ發音綴字ヲ教 ヘ次ニウガルマン編「フオ ルスト、フレンチ、ブツク」 ニ就キ讀方譯解文法會話書 取テ授ケ又習字ヲ課ス			
	同 第一	前期ノ續キ		前期ノ續キ						前期ノ續キ	前期ノ續キ		及前期ノ續キ	同上教科書 卷二		前期ニ引續キ「フオ ルスト、フレンチ、ブ ツク」ヲ教授シ更ニ 「セコンド、フレンチ ブツク」ニ遷ル				

日課時限基準表

(第四表)

時	間		至		摘	要
	自	至	十一月	至		
五時	三十分	起	人員	起	人員	起
六時	三十分	人員	人員	人員	人員	人員
七時	五十分	自	自	自	自	自
八時	五十分	第一授業	第一授業	第一授業	第一授業	第一授業
九時	五十分	第二授業	第二授業	第二授業	第二授業	第二授業
十時	五十分	第三授業	第三授業	第三授業	第三授業	第三授業
十一時	五十分	第四授業	第四授業	第四授業	第四授業	第四授業
十二時	五十分	第五授業	第五授業	第五授業	第五授業	第五授業
一時	五十分	自	自	自	自	自
二時	五十分	自	自	自	自	自
三時	五十分	遊	遊	遊	遊	遊
四時	五十分	遊	遊	遊	遊	遊
五時	五十分	遊	遊	遊	遊	遊
六時	五十分	遊	遊	遊	遊	遊
七時	三十分	自	自	自	自	自
八時	三十分	自	自	自	自	自
九時	三十分	人員	人員	人員	人員	人員

暑中ハ四時ヨリ六時迄ノ
間ニ之ヲ行フコトヲ得
以下人員検査マデノ間ニ
入浴セシム

備 考
一、診断ハ朝食後若クハ晝食後ニ於テ施行スルモノトス
二、自習時間ハ毎日三回(一回五十分)トス故ニ隔日自習(前期ハ二時ヨリ三時ニ至ル、後期ハ二時ヨリ四時ニ至ル)ヲ施行シタルトキハ他ノ自習時間一回ハ隨意自習トス
三、基準時間ハ増減スルヲ得スト雖モ地方ノ情况ニ依リ其時限ヲ變更スルヲ得ルモノトス

生徒志願者採用者縣別累年比較表

考 備	累 年 計	第六期	第五期	第四期	第三期	第二期	第一期	期 別		入 校 年 別	愛 知	三 重	靜 岡	岐 阜	福 井	石 川	富 山	小 計	前年 二對 比較 増減	他 師 管 計	
		三十五年	三十四年	三十三年	三十二年	三十一年	三十年	願 志	採 用												
一本表縣別ハ入校當時ノ居住地ニ據ル	501	60	67	66	123	77	67	願	採	30	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77
	133	22	27	20	29	26	29	用	用	30	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
	180	10	15	12	13	18	13	願	採	30	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
	194	5	2	1	2	6	3	用	用	30	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	247	8	6	6	10	8	3	願	採	30	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	277	1	2	1	1	3	1	用	用	30	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	293	18	13	4	14	10	7	願	採	30	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	327	6	1	1	1	3	2	用	用	30	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	347	7	8	4	9	10	9	願	採	30	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
	370	2	2	1	1	4	2	用	用	30	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	393	34	36	4	3	3	8	願	採	30	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	423	8	8	2	4	5	6	用	用	30	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	433	8	9	8	23	26	29	願	採	30	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
	443	1	3	3	2	2	2	用	用	30	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	450	145	155	153	133	170	175	願	採	30	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175
	463	33	33	37	39	49	33	用	用	30	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33
	464	1	2	7	5	5	1	願	採	30	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	465	1	1	2	2	2	1	用	用	30	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	474	7	7	6	11	11	16	採	採	30	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	500	500	500	500	500	500	500	採	採	30	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500

生徒修學素養別調表

考 備	入校年別	高等小學		中 學			計
		在學者	卒業者	第一年生	第二年生	第三年生	
	明治三十年	一〇	四	一九	一四	三	五〇
	全 三十一年	一九	四	一七	九	一	五〇
	全 三十二年	二	一五	二三	八	二	五〇
	全 三十三年	三	一七	二三	八	一	五〇
	全 三十四年	四	一四	二五	七	一	五〇
	全 三十五年	五	一八	二三	五	一	五〇
	計	四三	七二	一二八	五一	六	三〇〇

生徒採用者族籍調表

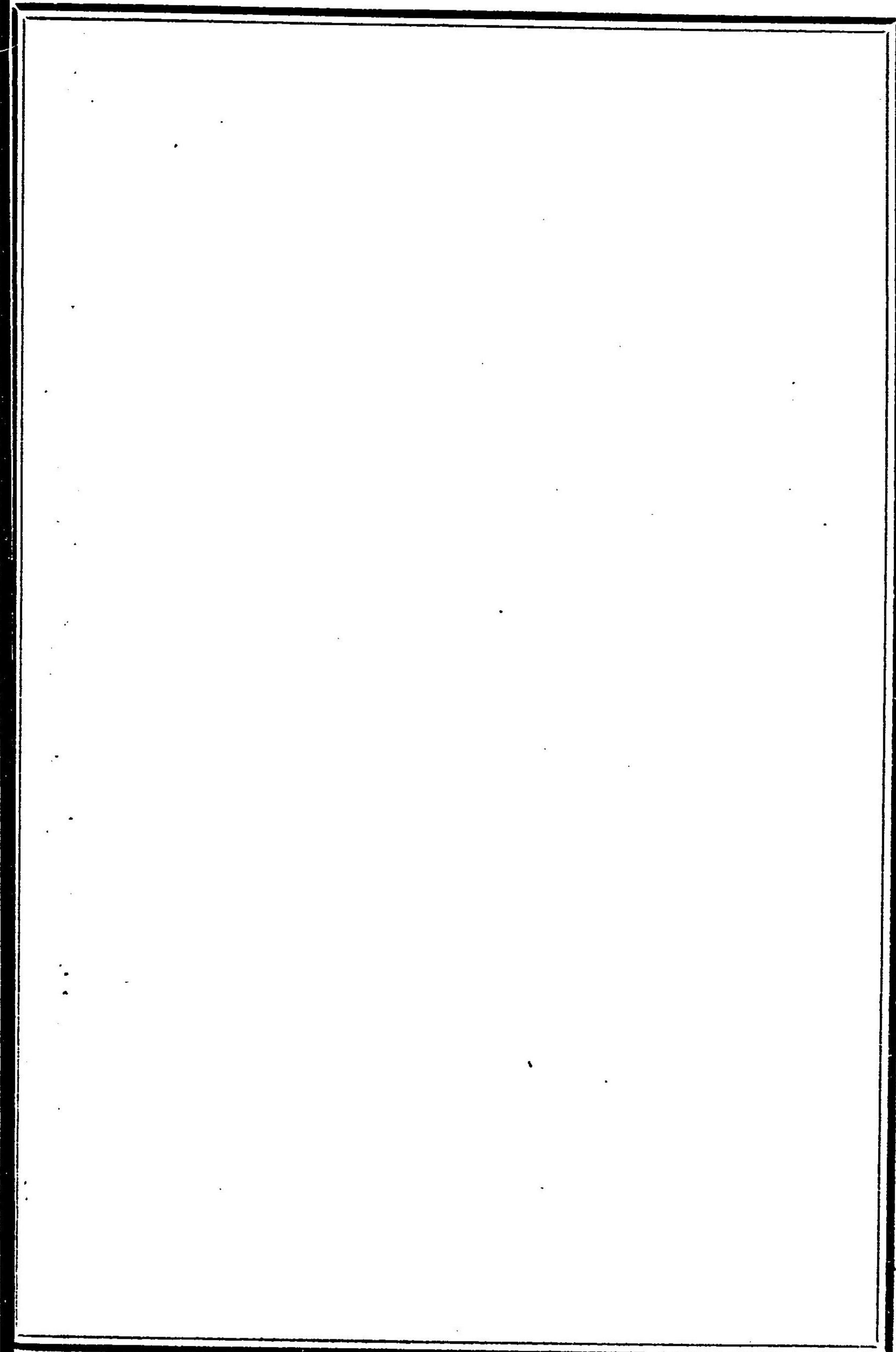
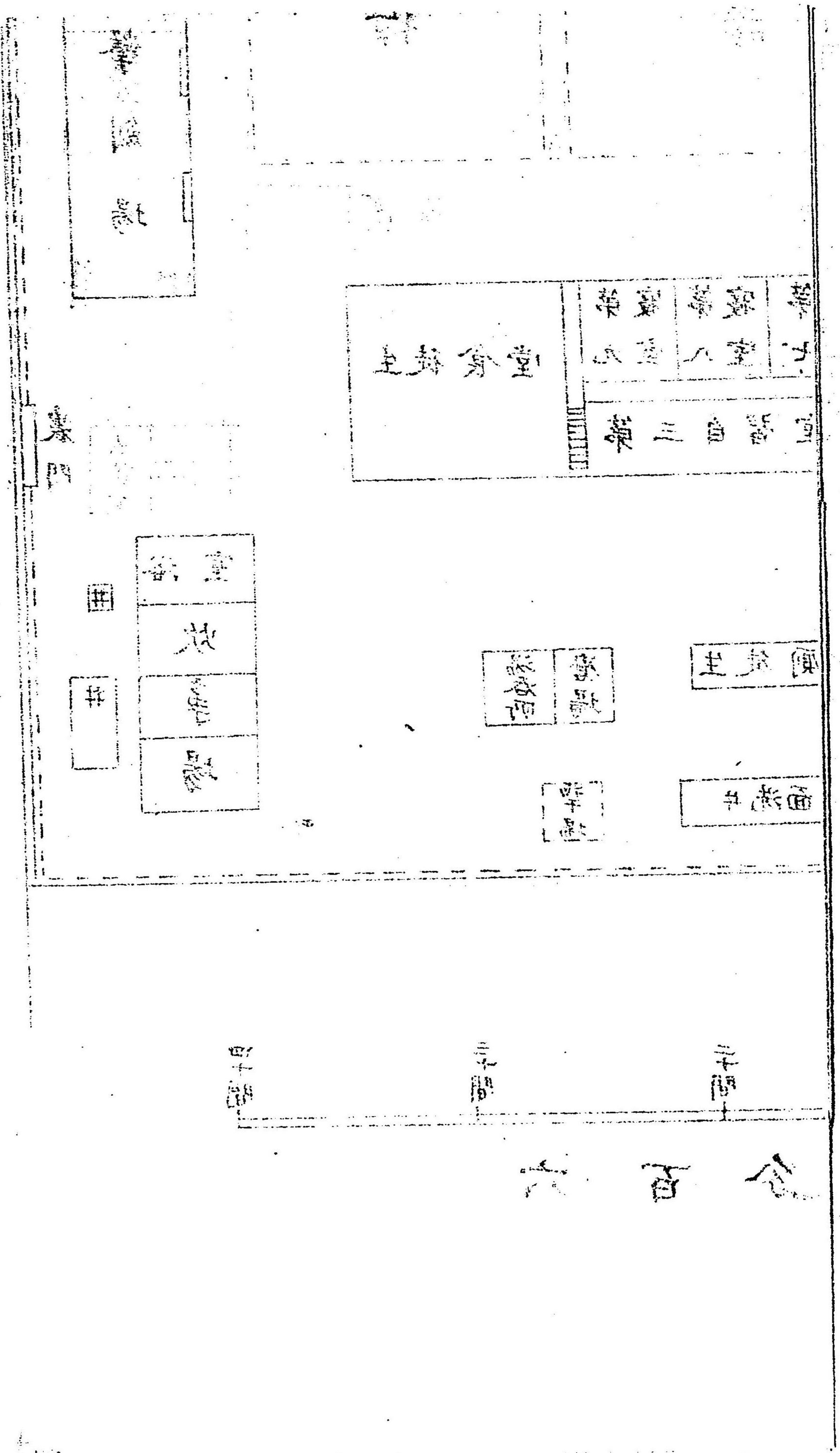
考 備	入 校 年 別	華 族				士 族		平 民		計
		一	二	三	四	一	二	一	二	
	明 治 三 十 年	一			二八	二一			五〇	
	全 三 十 一 年	一			二三	二六			五〇	
	全 三 十 二 年	一			三一	一九			五〇	
	全 三 十 三 年	一			二七	二三			五〇	
	全 三 十 四 年	一			二三	二七			五〇	
	全 三 十 五 年	一			三〇	一九			五〇	
	計	三			一六二	一三五			三〇〇	

生徒志願者身分別調表

考 備	年 別	志 願 者			採 用 者					
		計	將校並同相當官孤兒	將校並同相當官兒子	華士族平民	計	將校並同相當官孤兒	將校並同相當官兒子	華士族平民	計
	明治三十年	九	一	九	一四七	一七五	△三三	△六三	△二八	△三四
	全 三十一年	五	一	八	一四七	一七〇	△三	△二	四四	△四九
	全 三十二年	六	三	三	一八五	二二二	二	九	△二八	△三九
	全 三十三年	五	二	三	一〇九	一四三	△一	△一	△二六	△三七
	全 三十四年	五	二	三	一二一	一五五	△一	△一	△二八	△三四
	全 三十五年	五	二	三	一二二	一四五	△一	△三	△二四	△三七
	計	三五	一五	二〇	八二一	一〇一〇	△五八	△四八	△七三	△七四

本表採用者中△印ハ他地方幼年學校志願者ニシテ本校ニ入校セシモノ、人員ヲ示ス

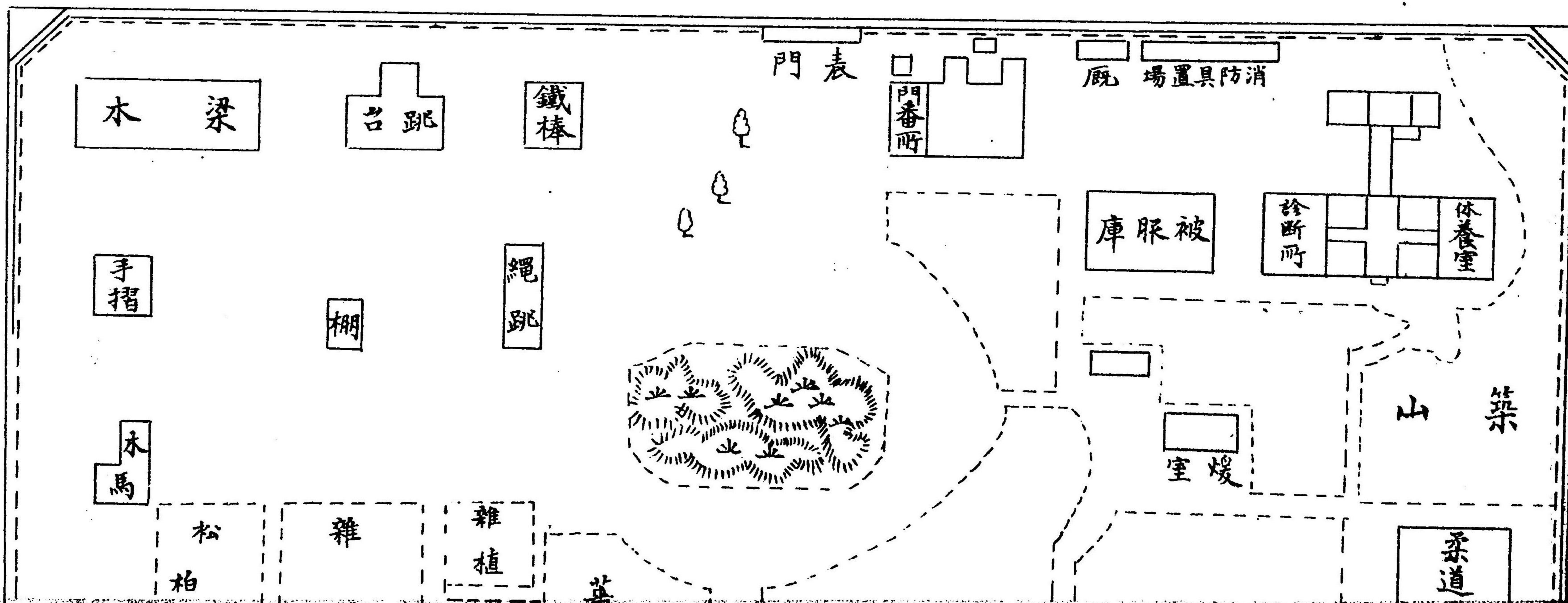
1/86



名古屋陸軍地方幼年學校畧圖

幼年學校運動場

門

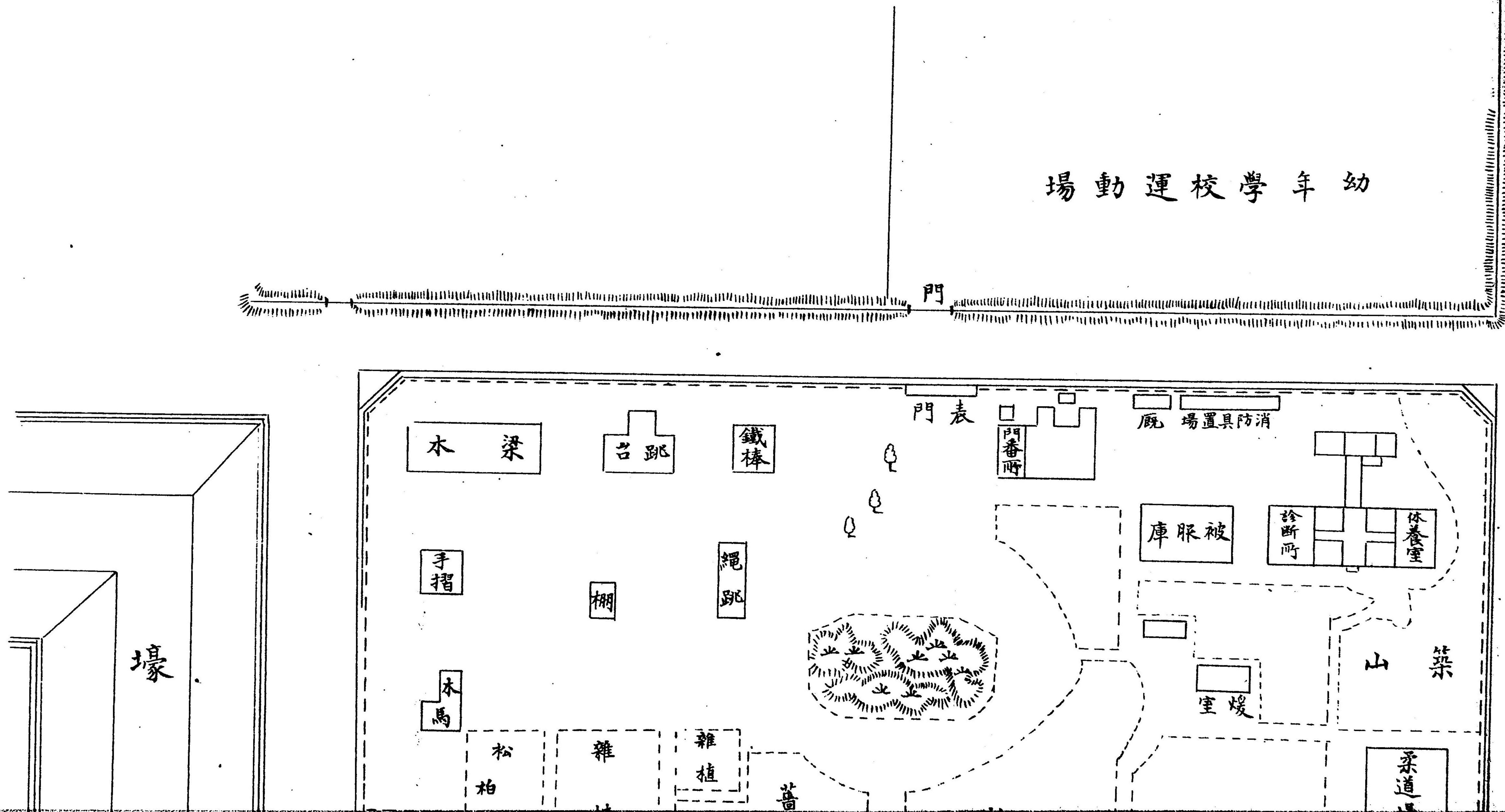


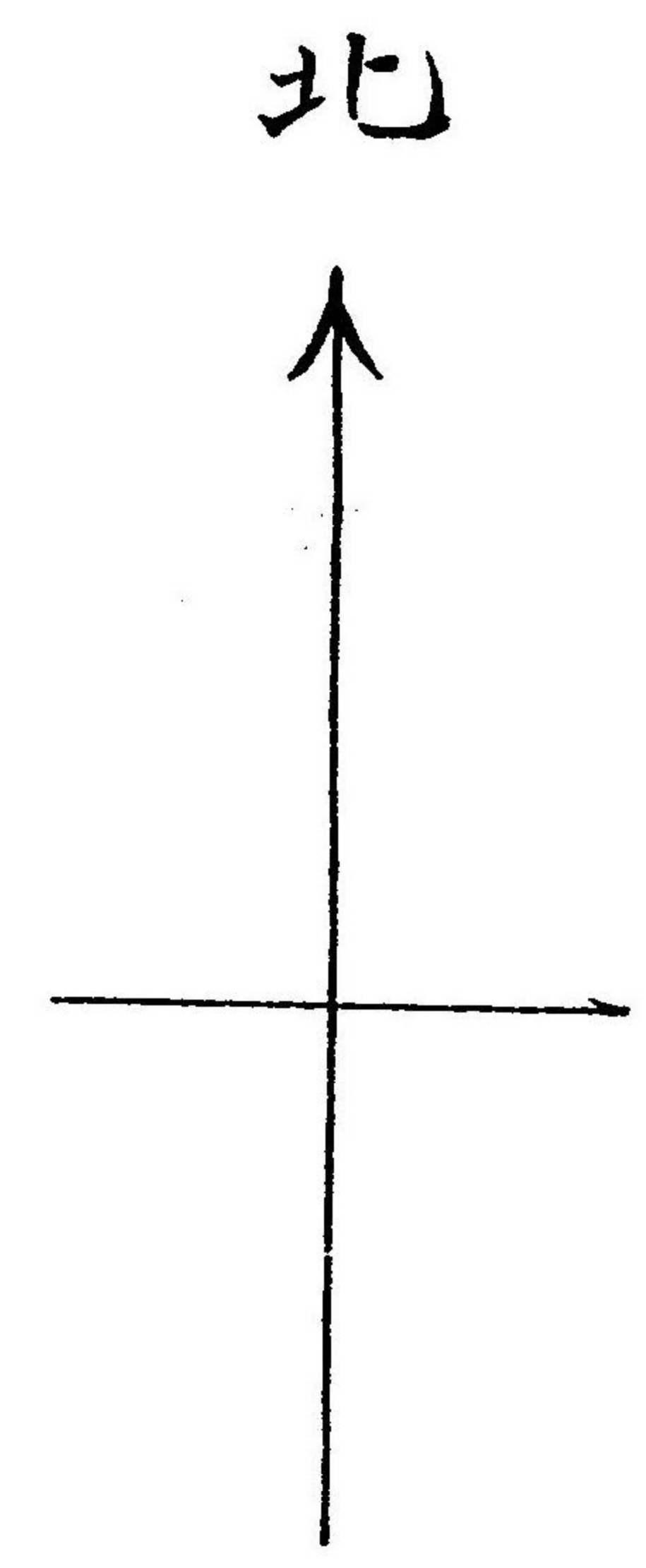
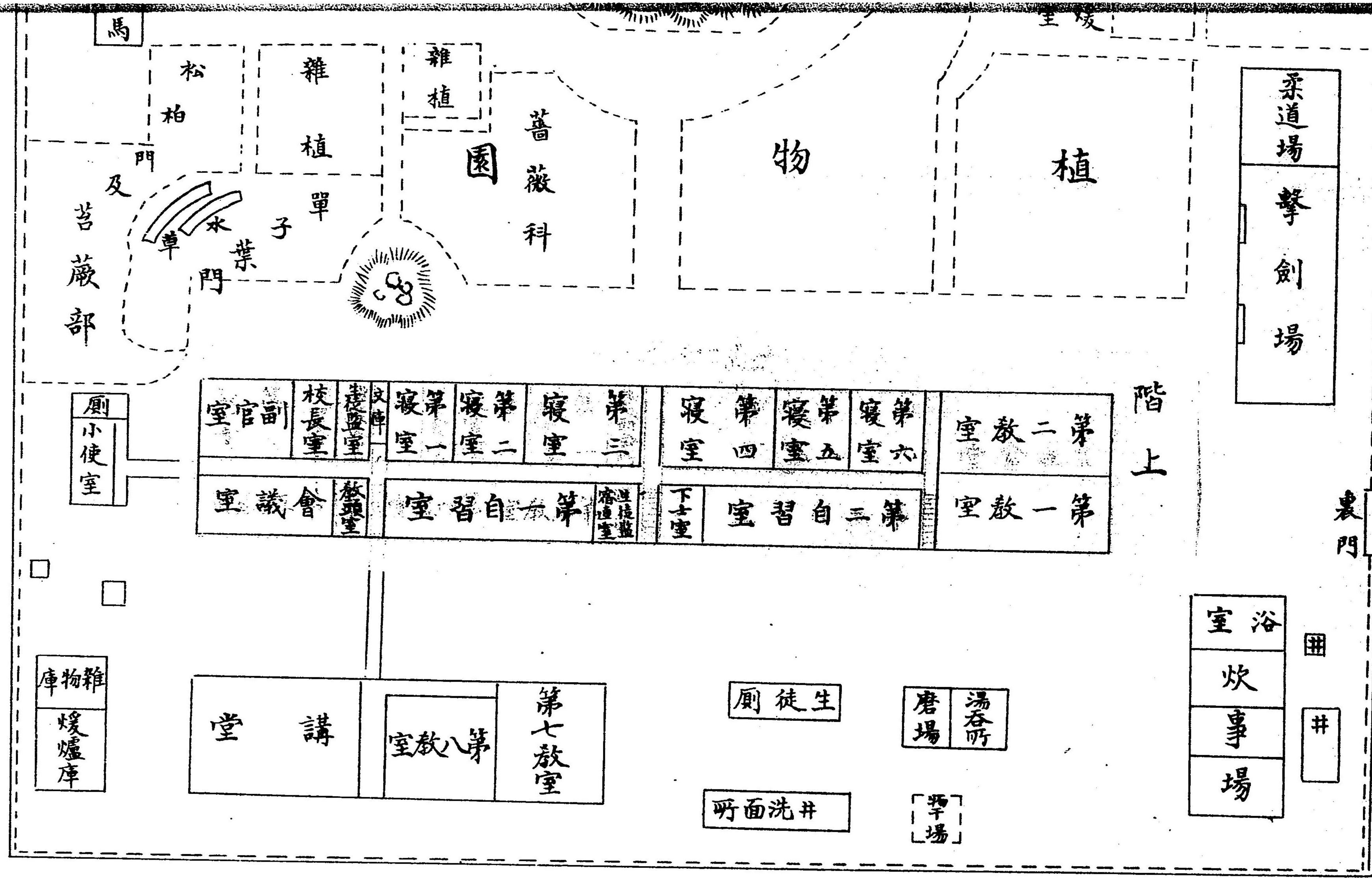
長塀町

北

名古屋陸軍地方幼年學校畧圖

幼年學校運動場

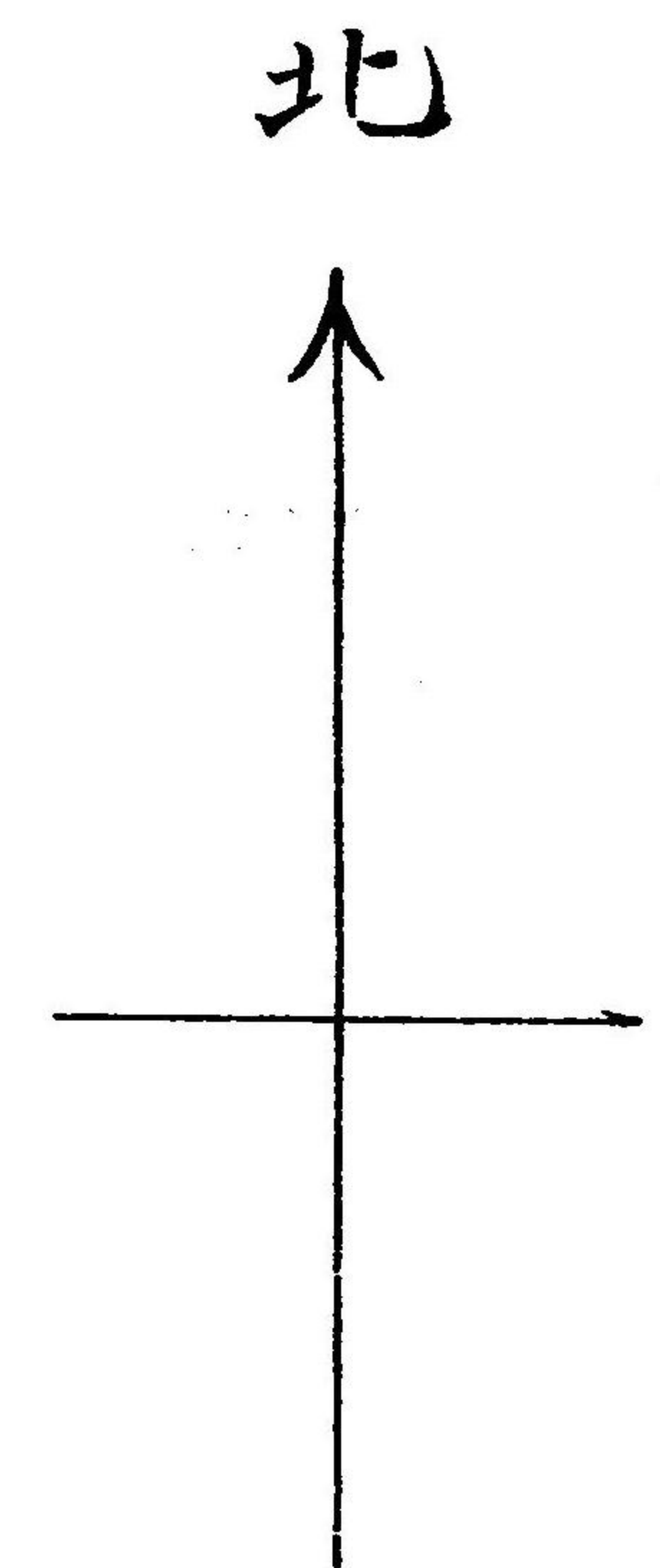
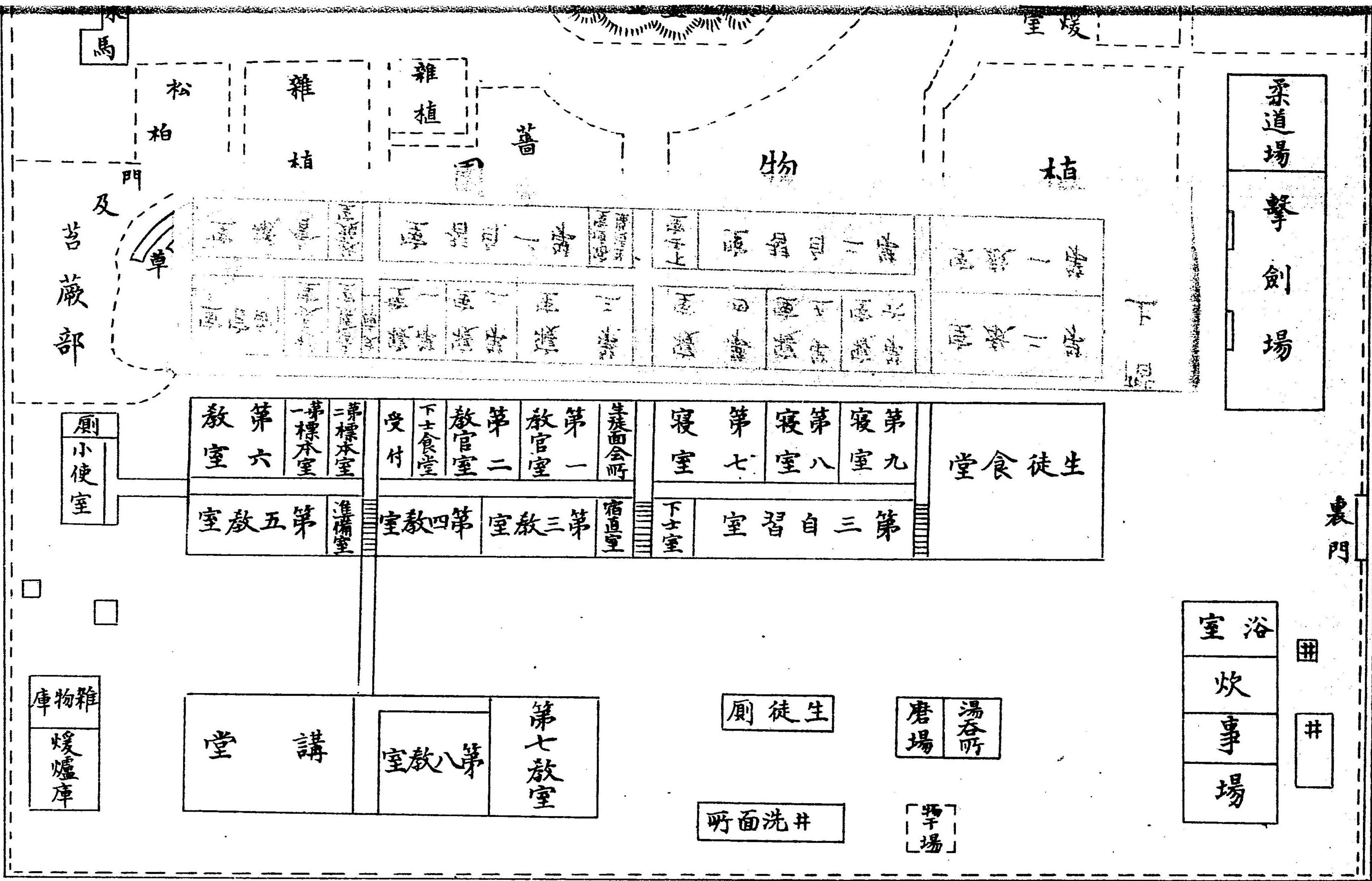




整杉ノ町



一之六分百六



整杉ノ町



一之分百六

柔道場
擊劍場

階上

裏門

室浴
炊事場
場

井

室暖

植 物 園

薔薇科

雜植

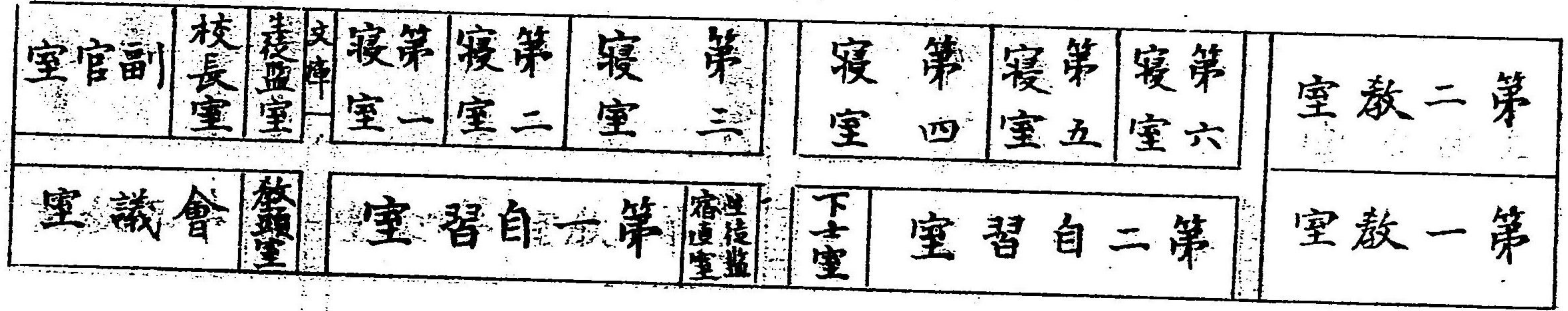
雜植 單

松 柏

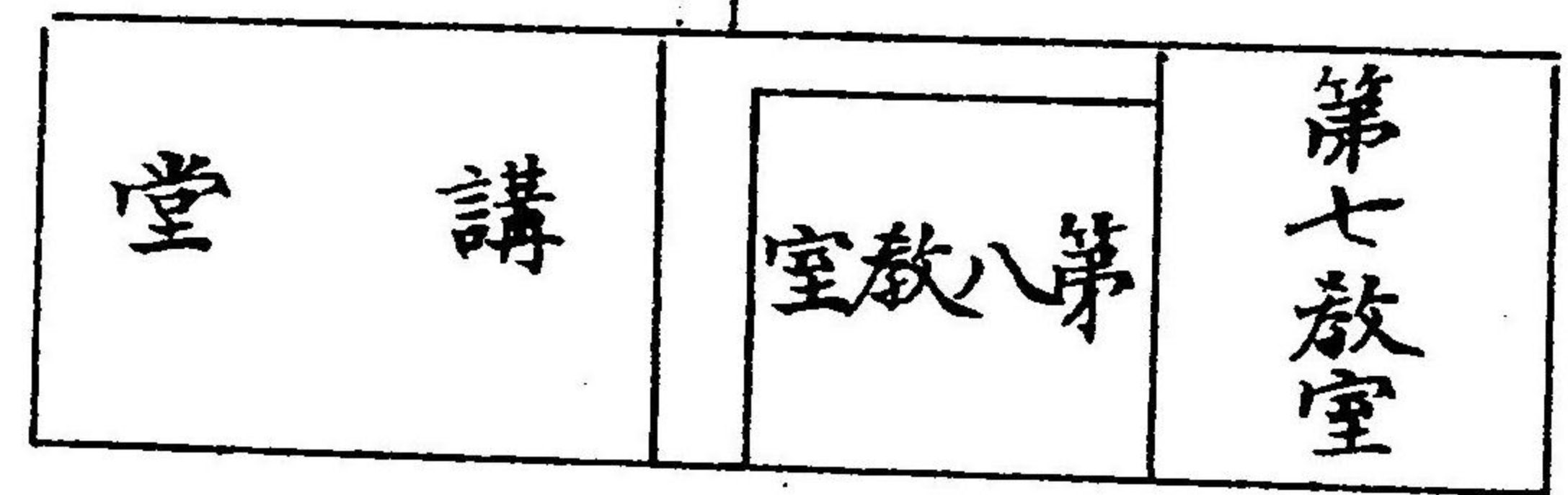
苔 蘚 部



廁小使室



庫物雜
暖爐庫



廁徒生

湯吞所
磨場

所面洗井

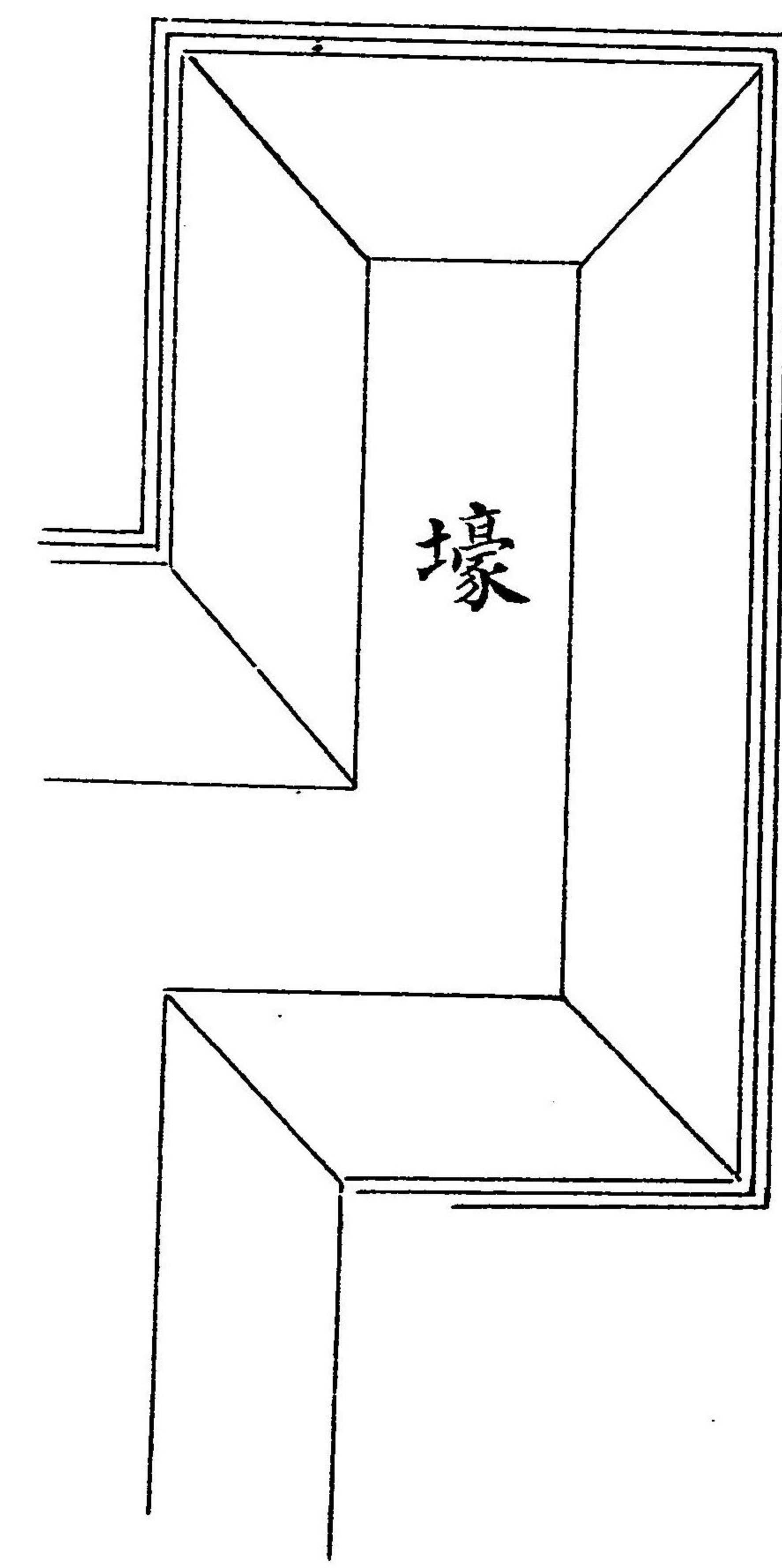
野場



一之分百六

手大東

壕



297
4

明治三十五年十一月十日印刷
明治三十五年十一月十五日出版

(非賣品)

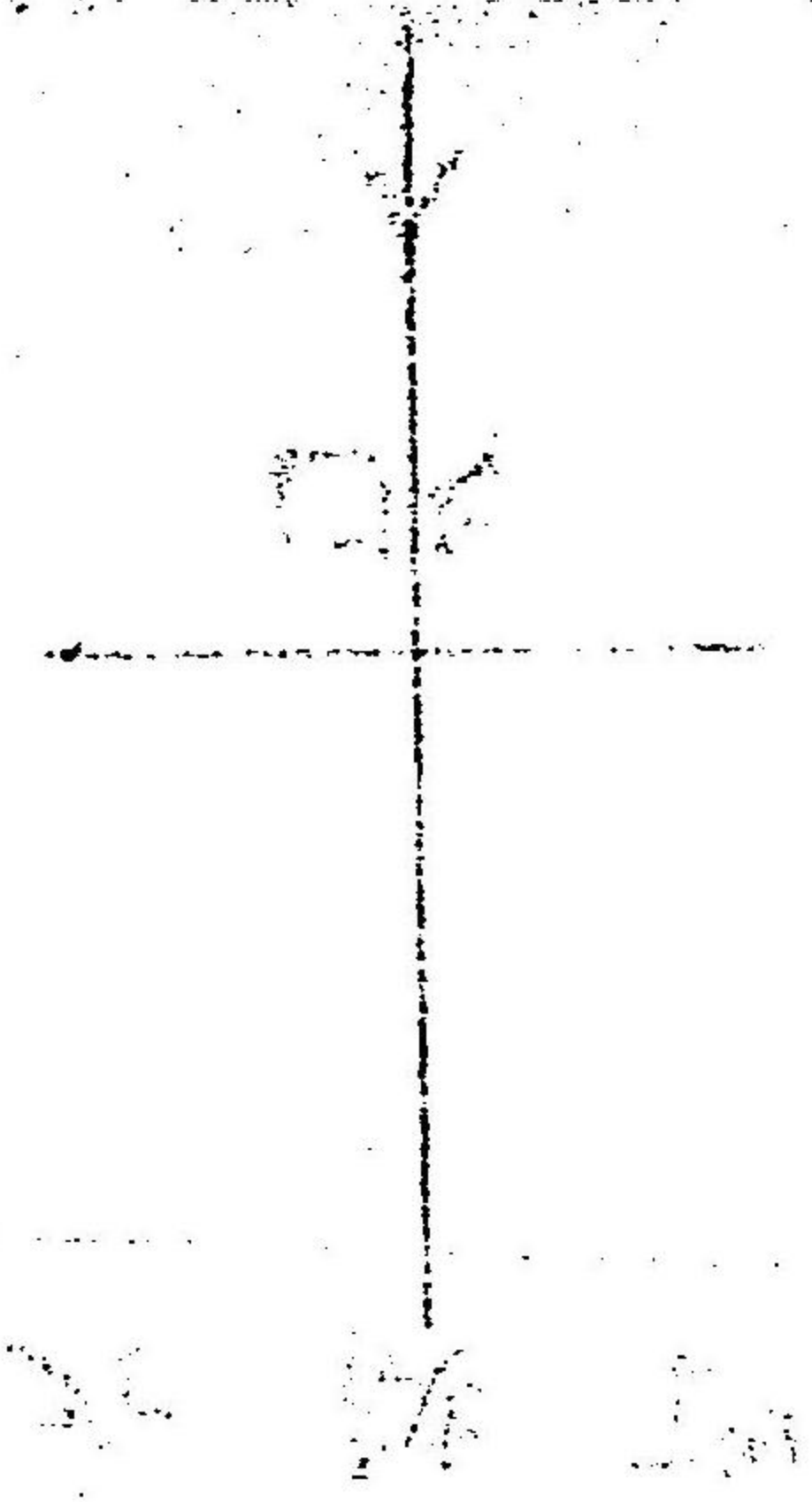
名古屋陸軍地方幼年學校

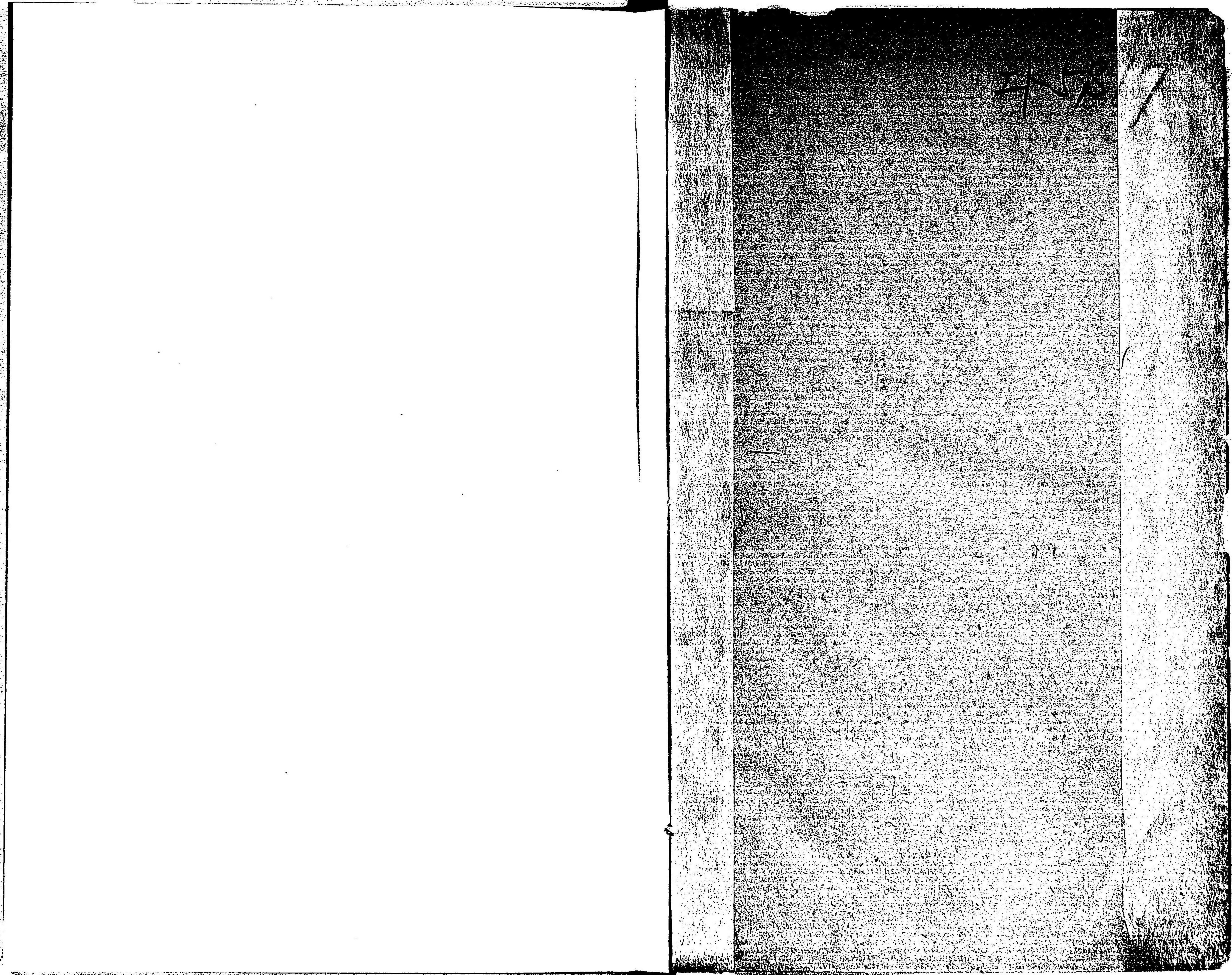
愛知縣名古屋市榮町六丁目十一番地

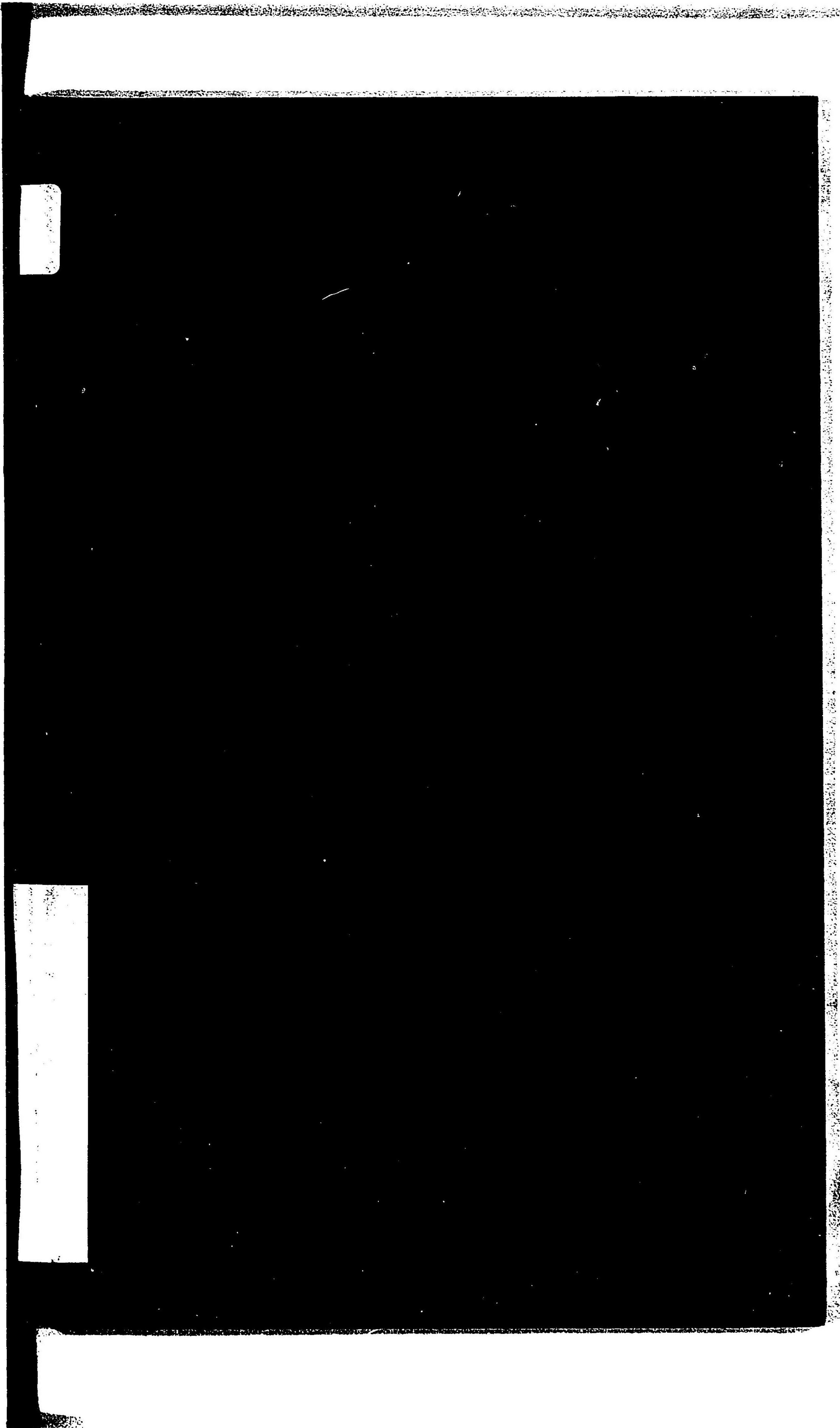
扶桑新聞社

印刷者 英比貞造

陸軍省







297

7

名古屋陸軍地方幼年学校一覽

明治35年

国立国会図書館

048942-000-0

297-7

名古屋陸軍地方幼年学校一覽

名古屋陸軍地方幼年学校

M35

BEJ-0763

